

2022年度日本家族社会学会大会ニュース No.1

編集・発行：日本家族社会学会研究活動委員会
委員長 嶋崎尚子（早稲田大学文学学術院）

Email : nshim@waseda.jp

日本家族社会学会第32回大会の概要と報告募集のご案内

今年度の大会ニュース No.1 をお届けします。日本家族社会学会第32回大会は、本年9月3日（土）・4日（日）の両日、日本女子大学（大会実行委員長：永井暁子会員）での開催を予定しています。しかしながら現時点でも、新型コロナウイルス感染症拡大は、収束の見通しがたっていません。そのため、今後の状況によっては、第31回大会（2021年9月）と同様に、オンラインで開催せざるをえない場合も想定しています。プログラムの公開までには決定する予定でありますが、この点を予めご了承ください。

このニュースでは、大会の基本的な構成と、自由報告ならびにテーマセッション・特別セッション等の応募と締切のスケジュールをお知らせします。今後、セッションの企画に応募された方ならびに自由報告を申し込まれた方との連絡は、研究活動委員会が個別に行います。大会についての会員全員へのお知らせは、今後、学会ホームページやメールマガジン、「大会ニュース No.2」で行います。

1. 大会の構成

- 現時点では、以下の構成を予定していますが、応募数などによって変更する可能性があります。プログラムは7月発行予定の大会ニュース2号でご確認ください。

第1日目 9月3日（土）

10:00-12:30 自由報告(1) テーマセッション 国際セッション
12:30-14:00 昼食・委員会
14:00-16:30 自由報告(2) テーマセッション
16:45-17:45 総会
18:00-19:00 交流会

第2日目 9月4日（日）

9:30-11:00 自由報告(3) テーマセッション
11:15-12:45 自由報告(4) テーマセッション 国際セッション
12:45-14:00 昼食・委員会
14:00-16:30 公開シンポジウム

- 別途、別刷交換コーナー、書籍販売コーナー、大会報告レジュメコーナーを設けます。
- 最寄り駅から大学までの交通などについては、大会ニュース No.2 でご案内します。

2. 大会シンポジウム「性的マイノリティと家族研究」

LGBTなど性的マイノリティへの社会の見方が劇的に変化している現在、家族研究者として取り組むべき課題について、広く意見交換するのが本企画の狙いです。当事者が抱える実質的な問題はもちろんのこと、広い意味での家族制度や家族生活への影響、家族を研究対象とする我々の研究活動への影響なども視野に入れられればと考えています。

・登壇者

森山至貴氏（早稲田大学）

大山治彦氏（四国学院大学）

元山琴菜氏（北陸先端科学技術大学院大学）

東優子氏（大阪公立大学）

・討論者は立てずに登壇者同士（+フロア）のディスカッションを中心にすすめます。

3. ポスターセッションについて

今大会では、昨年同様にポスターによる自由報告を公募は行いません。自由報告は口頭報告のみとなります。

4. テーマセッション・国際セッション・ラウンドテーブル・書評セッションについて

さまざまな企画が可能です。昨年度は、【テーマセッション】「NFRJ18からみる現代日本家族の構造と動態—家族形成の困難をめぐって—」、「全国家族調査18質的調査にもとづく成果報告」が企画されました。

今年も積極的にご提案ください。企画全体や一部の報告を英語で行うことも可能です。

（1） テーマセッション

報告者公募型のテーマセッションは、第30回大会より廃止となっています。テーマセッションは「企画全体提案型」のみとなります。一定のテーマに基づいて関連発表を組織し、司会者、報告者、ならびに討論者の有無を事前に企画した上で提案してください。企画全体や一部の報告を英語で行うことも可能です。

（2） 国際セッション

海外の研究者を交えて運営される企画をお持ちの方は、「国際セッション希望」と明記してください。このセッションで報告なさる会員外の方の資料印刷・通訳などに対し、研究活動委員会に若干の補助金枠があります。どのような資金援助を希望するか明記してください。予算は限られていますので補助がない場合の運営方法も考えておいてください。

（3） ラウンドテーブル

定まったパターンはなく、比較的少人数で、話題提供者の問題提起を中心に、自由にアイデアを交換しあうことが目的です。話題提供者の方が申し込んでください。

（4） 書評セッション

書評の対象とする著書・論文を決定し、報告者・討論者などを選定して申し込んでください。当日の運営は自主的に行ってください。

5. 企画提案・報告申し込み要領と締め切りについて

(1) 自由報告（口頭報告）

- 報告申し込み・要旨原稿提出とともに受付開始は4月15日（金）、締め切りは5月19日（木）です。報告題目に必ず要旨原稿を添えて申し込んでください。
- 自由報告の申し込みでは、オンライン開催に変更した場合での報告希望についてもご回答ください。
- 連名報告は認められていますが、口頭報告では1報告あたりの発表者は1名です。
- 日本語以外に、英語での報告も受け付けます。
- 要旨原稿は、大会ホームページのテンプレートのフォーマットを順守して、作成してください。日本語と英語で異なります。ご注意ください。
連名報告の場合のみ、口頭発表者の前に○を入れてください。
- 提出先は、大会ホームページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインして申し込んでください。

(2) テーマセッション・国際セッション・ラウンドテーブル・書評セッション

- 企画案の受付開始は4月1日（金）、締め切りは4月15日（金）正午です。申し込みの受付窓口は、「日本家族社会学会ヘルプデスク（jsfs-desk@bunken.co.jp）」です。企画題目と趣旨（800字程度）、オーガナイザー（テーマセッションおよび国際セッションの場合は、司会者、報告者、討論者を含む）を明記してください。
（指定のExcelフォーマットを大会ホームページよりダウンロードして申込内容を記入の上、提出してください。）
- 後日、研究活動委員会から企画案の採択結果をお知らせします。企画が採択されたら、テーマセッションの報告者の方は各自、オーガナイザーと調整の上、要旨原稿を提出してください。国際セッションは、オーガナイザーが責任をもって報告者全員の要旨原稿を提出してください。締め切りはいずれも、5月19日（木）です。
- 提出先は、大会ホームページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインして提出してください。国際セッションのみ、メール添付にて大会ヘルプデスクにお送りください。

6. その他の特記事項

- 報告者の資格要件
報告は、本学会会員でありかつ定められた会費を納入していることを資格要件とします。現会員の方は、前年度（2021年度）までの未納会費がないよう注意してください。新入会員については、5月9日（月）までに入会手続きを行い、その後会費を納入してください。会費納入期日はいずれも5月16日（月）です。ただし、国際セッションの報告については、会員以外の報告を認めます。
- 大会当日配布冊子に広告掲載をご希望の方は鳴崎までメール（nshim@waseda.jp）にてお問い合わせください。

7. 今後の予定について

7月中旬には大会ニュース No.2(大会プログラム)を公開します。大会に関する情報は、学会のホームページやメールマガジンで逐次お知らせしますので、ご覧ください。

(研究活動委員長 嶋崎尚子)

8. 大会実行委員会から

日本家族社会学会第32回大会は、2022年9月3日、4日に日本女子大学目白において開催する予定です。この2年間、新型コロナウイルスによりオンラインにより大会が開催されてきましたが、コロナ禍での対面方式の可能性をさぐりつつ、現段階では対面開催のための準備を進めております。

私をはじめ大会実行委員が所属する/していた人間社会学部は、1990年に川崎市西生田の地に新設された学部でしたが、昨年2021年3月に目白キャンパスに戻ってまいりました。決して広いキャンパスではありませんが、文京区の有形文化財に指定されている成瀬記念講堂、本学卒業生の建築家妹島和世氏がグラウンドでデザインを手がけた新しい目白キャンパスで、皆様にとって意義ある学会活動となるよう努めてまいります。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

(第32回大会実行委員会委員長 永井暁子)